第一万七千九百十三号　金曜日　周刊モダン　昭和二十年十一月二日　（可部鉄道三段抜）　（二）

飢ゑる都市生活者
満腹の構想
「消費組合各地に擡頭

再建の意欲
戦災住宅は快速調！

配給統制を案す
買出し組合
縣は不許可の方針

富岡町でも結成
全町民を組合員に

風船爆弾の「張板」
肥桶となって増産へ

戦争の暗影（十）
秘められた刑事々件

壁に耳あり
泥棒一家のひそくはなし
雨宿りの刑事が聴く

早合點の杭打ち
縣と高崎の諒解は着いたが
割切れぬ市民の感情

鍬や鎌など
小農具、愈よ出廻る

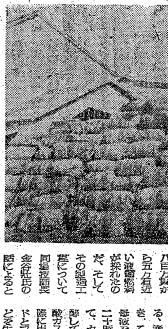
焼けない隣組も協力
清王寺町では集團復興

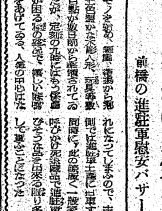
職災者に見舞金

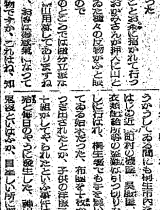
前橋署管内の供出成績

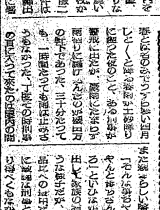
キモノに人氣
前橋の進駐軍慰安バザー

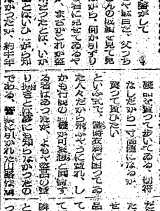
〜が山の諸甘のこ〜るなに酎燒

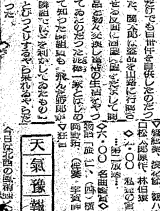


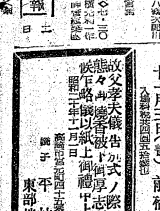


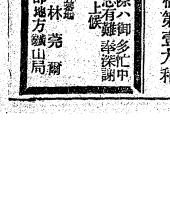


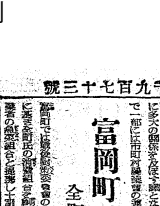












この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。